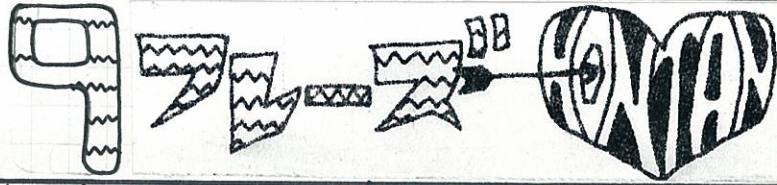


HONTAN

図書館ボランティア「本探」が
毎月の図書館情報をお知らせ
します。 ☆ 第16号
3月18日

2010年度最終号です
来年度も
よくお願いします

9月号、今回のテーマは、
「背中を押してくれた、
前向きになれる7月号」
ちょっと落ち込んだとき、何かをする勇気が欲しいとき、背中を押してくれる言葉たちです。

とおかの
おすすめ7月号
加藤千恵 閉架:CS00580
『ハッピーアイスクリーム
-17歳って、これだけ無理。-』
「楽しい方があたしの道だ」
短歌集。あのころの大切な気持ちを出せる言葉。

珠の
おすすめ7月号
畠中恵 913.6/H-[1]
『しばげ』
「強くなりたい。たとえ心地よないことでも、
受け止めるだけの強さを身につけたい」
嫌なことから逃げはならない。胸に刺さる一言。

花蓮の
おすすめ7月号
伊坂幸太郎 913.6/I
『砂漠』
「その気になれば、砂漠に雪を降らすことだって、
余裕でできるんですよ」
世界はきっと変えられる、と思える一言。

卯月の
おすすめ7月号
柳広司 913.6/Y
『キング&クイーン』
「目の前に困っている人がいたと、どんなことが
あっても絶対に見捨てない」
主人公の父が残した言葉。

N川の
おすすめ7月号
太宰治 913.6/D-1
『太宰治選集1』所収『葉』
「どうにか、なる」
「ほんとうに、言葉は短いほどよい」と作者は言う。
素敵だなぁ。

ma☆buの
おすすめ7月号
相田みつを 728-21/A
『にんげんだもの』
「つまづいたっていいじゃないかにんげんだもの」
「人間である以上失敗はする。問題はそれのあとにどうするかだ。」

いとまの
おすすめ7月号
村上龍 913.6/M
『はじめの文学 村上龍』
所収『希望の国のエクダス』
「お願いしてもダメなんだって確認したじゃないか。奪った。戦って奪わなきゃいけない」
中学生が世間を動かす。

きゅうの
おすすめ7月号
有島武郎 2階文庫新書 913.6/A
『小さき者へ』
（岩波文庫）
「行け。勇んで。小さき者よ」
背中を押してくれる人がいることは、何事より強い励まし。

なのかの
おすすめ7月号
嶺本野はる 913.6/T
『ハピネス』
「一万円も払ってカーライスだなんて、最高に面白くない？」
好きなことにのめりこむのに人生の長さは関係ない。

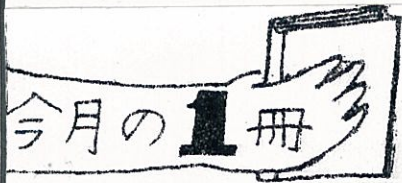


ミステリー小説を読みはじめるなら
⇒有栖川有栖『ロシア紅茶の謎』913.6/A
臨床犯罪学者・火村英生と、駆け出し推理小説家・有栖川有栖が登場するこのシリーズは短編集の第一弾で、国名シリーズと呼ばれています。
個性の強い主人公二人に、滑らかなストーリー運び、さりげない情報提示から真相に迫っていく推理小説の型の描き方も堂に入っており、加えてトリックの趣向は様々で、単純明快かつ論理的に事件が解決されていく様子はミステリー初心者も本格

ミステリー好きも満足間違いなし。
著者の有栖川有栖は近代の有名推理小説作家の一人で、その作風は前其日エラリー・クイーンの影響が色濃く、「読者への挑戦状」が挿入されている作品が多くあります。
難解なトリックに挑むもよし、物語の一部として楽しむのもよし。
ミステリーへの第一歩として、お手にとってみてはいかがでしょうか。
(珠)

HONTAN 雑誌の書評を 紹介 Pickup MAGAZINES

9月号3月号
146~149p「文庫ガ
ヴァンチ」より
今回の特集は
「動物」です！
「動物」と聞いて、あなたは何を一番に思い出しますか？好きな動物、家にいるペット、はたまた動物園……。あなたが思い浮かべる数と同じくらい、動物が主人公の小説やエッセイはこの世界にたくさんあります。暖まるハートフルな話から、とても悲しくなる話まで。
人との生活に、「動物」というのは切っても切り離せない関係にあるみたいですね。
その中から一冊、やはり人と犬のお話はどうでしょうか？
テリ・ケイ著
『白い犬とワルツ』兼武進訳(933.7/K) (きゅう)



宮部みゆき著

『小暮写真館』

913.6/M

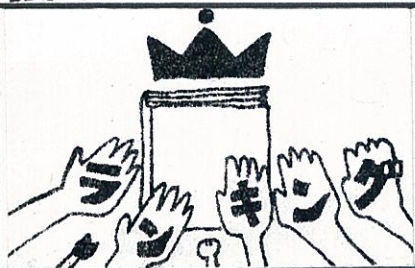
主人公の高校生・花菱英一の両親は少々風変わりなところがある。何故、結婚20周年の記念に買った念願のマイホームとなる住まいに、廃業して古びた写真館の店舗を選んでしまうのだから。

一風変わった、けれど妙に味のあるこの建物に住むことになった英一のもとに、ある日、写真館が

まだ営業していると勘違いした女子高生から一枚の写真が渡される。なんと、それは心霊写真だといふのだ。

はじめは気乗りしないまま、その写真を調べ始めた英一。そこに映る人々に会って話を聞こうと、それぞれがその写真に抱える複雑な「想い」が見えてきて……。

最初の写真をきっかけとして、なぜか様々な心霊写真が持ち込まれ、「心霊写真探偵」のようなことをしていく主人公。その謎解きの物語が、次第に英一、その幼い弟・光(愛称ピカ)や両親、個性派揃いの友人たちなど、英一を取り巻く人達の物語へとつながっていく。一人ひとりの登場人物がまるで実在するかのように生き生きと描かれ、読後は心がほんわかとする作品。(花蓮)



2010年度
貸出し件数
ランキング!
(指定図書はのぞく)

iPadが話題になったこともあり、2010年は電子書籍元年などと呼ばれて
本探力
「電子書籍について」

iPadが話題になったこともあり、2010年は電子書籍元年などと呼ばれて

順位	書名	著者名
1	贖罪	湊かなえ
1	神様のカルテ	夏川草介
3	キケン	有川浩
4	少女	湊かなえ
4	植物図鑑	有川浩
4	アバター	山田悠介

いしましたが、日本人になじみのある電子書籍といえは携帯電話やパソコンで読むケタイ小説やwebマンガではないでしょうか。専用の端末を使、ていなくても、電子機器を使、て読むものは電子書籍といえるのですから。現在はソニーやシャープなど日本の大手の企業が電子書籍専用端末が売り出され、今後ますます多くの電子書籍、端末の登場が期待されています。

電子書籍が今後普及していくことで、未来の読書の姿は変わっていくかもしれません。10年後、20年後のあなたは、どんな読書生活を送っているでしょうか。すごく変化する、いやあまり変わらないなんて未来を予想してみるのも、楽しいかも?

⇒「電子書籍元年」iPad&Kindleで本と出版業界は激変するか? 田代真人(023/T)

よくわかる HONTANの 伊藤 館長図鑑

第4巻 発行者 卯月

今回は、日頃伊藤館長の感じる本の魅力について。コメント:「異文化への窓」であるところ。文字を通じ場所・文化・時代などいろいろを知ることが出来るのが魅力。テレビやネットなどの映像ではなく、活字は読み手の想像力を膨らませてくれます。また、本は読んでいて楽しいのも魅力の一つですね。

今年度の館長インタビューはこれで最後となります。機関紙は来年度も継続しますので、今後とも応援お願いいたします。



系編 集 後 記

大学生の春休みって、長いですよ。バイトにあけくたたり旅行に行ったりする人もいれば、勉強や実習に多忙な人もいるでしょう。でもこの長い春休みに、「ちよと本でも」なんて手にした作品が、あなたの何かを変えてしまうこともあるかもしれません。本のか、言葉のかはあなたにませんよ。

(とおか)